



# ICT だより

## 第 83 号

### ウイルス感染症の脅威

2015年5月より韓国において MERS コロナウイルス(MERS-CoV)による大規模なアウトブレイクが発生し、大問題となりました。MERS-CoV をはじめとして、我々のまわりには、数えきれないほどのウイルスが存在し、ときとして人類への脅威となることもあります。今回の ICT だよりでは、近年、話題となっているウイルス感染症をとりあげます。

#### MERS(中東呼吸器症候群)

MERS は 2012 年 9 月に初めて報告され、その原因となる病原体は 2013 年 5 月に MERS-CoV と命名されました。コロナウイルスはヒトに感染すると風邪のような症状を引き起こしますが、MERS-CoV による感染症はときに重症化し、最終的に死に至ることもある危険度の高い疾病です。

MERS-CoV はサウジアラビアから発生し、その後、周辺の中東諸国に広まり、現在のところ 26 の国で患者が確認されています。WHO の報告によると、7 月 7 日現在、MERS-CoV に感染したと報告された患者の数は全世界で 1,368 人、死亡者は 487 人とされています。

MERS-CoV のヒトへの感染経路は「ヒトコブラクダ」との濃厚な接触と考えられていますが、医療施設において院内感染対策が十分にとられていなかったり、家族内で濃厚な接触があったりした場合に、ヒト-ヒト感染が確認されています。

韓国での大規模な流行は、韓国の風習と大きくかかわっているとされています。韓国では診断や治療に納得がいかないと、病院を頻繁

### 目次

ウイルス感染症の脅威

ICCS ネットワーク研究会 南東北セミナー 開催案内

第 7 回 J 感染制御ネットワークフォーラム 開催案内



## ICCS ネットワーク研究会 南東北セミナー 開催のご案内

日時: 8月9日(日)

10:00~16:30

場所: フォレスト仙台

講演内容(抜粋)

滅菌技師/士認定制度とは

第2種滅菌技士を取得して

第1種滅菌技士を取得して

看護師の人材育成と教育・感染予防教育の現状と課題～看護基礎教育の立場から～

感染管理認定看護師の育成・教育～認定看護師養成の立場から～

看護師教育と認定制度～看護協会の立場から～

## 第7回 J 感染制御 ネットワークフォーラム 開催のご案内

日時: 8月15日(土)

9:30~17:30

場所: 仙台国際センター

内容: 詳しくは下記

[http://www.tohoku-icnet.ac/network\\_forum/7th/index.html](http://www.tohoku-icnet.ac/network_forum/7th/index.html)

## ウイルス感染症の脅威

にかえる患者が多いといえます(これは「ドクターショッピング」と呼ばれています)。また、入院患者の世話を看護師ではなく、医療経験のない家族や親類が行うことが一般的であることから、感染対策に明るくない家族や親類に感染が広がる危険性が指摘されています。さらに、患者が入院している病室や緊急治療室に多くの見舞い客が訪問する風習もあり、これらの原因によって、MERS 感染者に多くの人が濃厚接触することとなり、結果的に感染が拡大したと推察されています。

韓国での MERS の流行は終息しましたが、中東では現在でも感染が継続しており、日本にもいつ MERS 感染者が入国してもおかしくない状況です。MERS 感染者が発生した場合の対策を講じておくことが、韓国の二の舞を踏まないための方策といえるでしょう。

### E 型肝炎

6月12日、厚生労働省は食品衛生法に基づき、豚の肉や内臓を生食用として販売・提供することを禁止しました。これは、豚の肉を生で食べることにより「E型肝炎ウイルス(HEV)」に感染したり、食中毒を起こしたりする事例が多発したために講じられた対処です。

HEV に感染すると、約6週間ほどの潜伏期間を経たあと、黄疸や発熱、倦怠感、食欲不振、嘔吐、腹痛などの肝炎症状が現れ、最悪の場合、肝炎が悪化して死に至る場合もあります(致死率は1~2%)。

新鮮なうちに食べれば問題ない、と思っている人もいるかもしれませんが、HEV は生きている豚の肝臓や血液中にすでに存在しているため、新鮮か新鮮でないかは関係なく、生肉を食べる行為が、E型肝炎を発症するリスクがあります。

### SFTS(重症熱性血小板減少症候群)

SFTS は「SFTS ウイルス」が引き起こす感染症で、SFTS を発症すると血小板や白血球が減少し、肝臓をはじめとした全身の臓器に異常が現れ、最悪の場合、死に至ることもあります。2015年7月1日の時点で、日本国内で137名の患者が報告され、そのうち38名が亡くなっています(致死率28%)。

SFTS ウイルスに感染する原因は、ウイルスを持つマダニにかまれることです。マダニは藪や森林などに生息しており、多くの場合、植物の上で人などの動物が通りかかるのを待ち伏せして、人が通りかかると、その人に飛び移ります。そして、ノゴギリのような口を人の皮膚に刺して吸血をはじめ、この際にダニから人へとウイルスが侵入します。SFTS ウイルスに対するワクチンや特効薬はないため、対症療法しかできないのが現状です。

以上のように、我々の周りには病原性を持ったたくさんのウイルスが存在しています。昨年はデング熱(デングウイルスが原因)の国内発生も話題となりました。多くのウイルス感染症を根絶させることは事実上不可能です。しかし、季節性のインフルエンザのように大規模な流行を起こすことは稀であり、それぞれのウイルスに対する正しい知識を身に付けた上で行動することが重要と考えられます。